

環境基本方針

社会の持続的な発展のためには環境保全(汚染の予防)や省資源のための活動が重要である。当社はそれらの活動を基本的なことから位置づけ、その環境方針を以下に定める。

1. 当社は事業活動を進めるにあたって、省エネ・省資源活動や建設副産物の適正処理に努め、環境負荷の軽減を図り、環境の保全に寄与する。
2. さらに、カーボンニュートラルに資する中温・常温材料等・環境に配慮した工法等の技術開発を推進するとともに、それらの製品・工法の普及に努める。
3. SDGs経営を念頭に社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献する。
4. 事業活動を進める中で、環境関連の法規制・地域住民との協定など環境保全のために必要とされる事項を遵守する。
5. 以上のことを踏まえた環境マネジメントシステムを整備し、その継続的改善を図る。
6. この環境方針を社員に周知し、環境意識の向上を図ると共に、一般に公開する。

2023 年 4月 1日

東亜道路工業株式会社

代表取締役社長 森下 協一

別紙 2

環境保全活動	目 標	目標達成のための計画・方策
自動車公害対策	・自動車排出ガス量の削減	・アイドリングストップの推進 ・ダンプ車両の効率化 ・顧客への啓発
化学物質対策	・化学物質の漏洩を防止する ・化学物質排出量の削減に努力する	・製造設備、施設の適正維持 ・雨水排水の維持管理 ・植物油系の油脂を積極的に使用する ・排ガスの適正管理(良質油の使用) ・油流出時訓練実施
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	・燃料油使用量抑制 ・電力使用量抑制 ・CO2排出量抑制	・燃焼装置のメンテナンス強化 ・使用材料の含水比管理 ・燃焼効率を考え、製品を出荷する
廃棄物対策	・廃棄物排出量を抑える	・適正処理の徹底 ・事務処理上のペーパーレス化の推進 ・社内資料等コピー用紙裏面使用推進
緑化対策	・緑地面積を前年度と同程度維持すると共に植栽を行う	・緑地の整備(植栽を行う) ・落ち葉、落枝の清掃適正処理
グリーン購入対策	・事務所内での再生品の使用を推進する	・コピー機トナーの再生品使用 ・コピー用紙裏面使用
環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステムを推進する	・ISO14001の運用 ・内部監査
環境教育	・環境保全に関する社員教育の徹底	・環境保全について社員教育 ・顧客への啓発
地域社会への参加	・地域住民や行政が行う環境保全活動に積極的に参加する	・地域社会との交流 ・近隣道路等の清掃活動
環境コミュニケーション	・環境情報の公開に努める	・環境情報の公開 ・環境報告書の提出

別紙2-2

項 目	取 組 結 果		今後の取組計画
自動車公害対策	排ガス量測定等は実施していないが、アイドリングストップ啓発により削減期待	・アイドリングストップの啓発	・継続実施
化学物質対策	雨水排水の汚染は無し	・製品付着防止剤(植物油系)の代替使用 ・付着防止剤の使用量微増 ・雨水排水溝、分離槽の定期的清掃 ・油流出時訓練実施	・鉱物油の使用を無くす(構内全面禁止) ・付着防止剤の噴霧回数を可能な限り少なくする
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	前年度に対しすべての事項について抑制成功	・燃料油使用量 2022年度10.0ℓ/t 2023年度9.8ℓ/t ・電力使用量 2022年度14.5KWH/t 2023年度13.4KWH/t ・CO2排出量 2022年度31.77kg-co2/t 2023年度30.63kg-co2/t	・機械稼働の効率化 ・2024年度は2023年度実績より抑制努力継続
廃棄物対策	排出抑制	・適正処理の徹底 ・コピー用紙の裏面使用	・廃油等の減量化 ・ペーパーレス化 ・裏面使用推進
環境マネジメントシステム	ISO14001 認証維持	・環境マネジメントシステムの運用	・環境マネジメントシステムの適正運用
環境教育	環境保全に関して社員教育を実施	・定期的に社員教育を実施	・新規入場者に対し教育実施
地域社会活動への参加	地域住民や行政が行う環境保全活動に参加努力する	・近隣道路等の清掃活動実施	・継続的に実施していく